

ふたご座流星群を見よう



天空が広がるうぶやまの高原には、厳しい北風が吹いています。大変寒いですが、冬は空気が澄み切っていて星空が一番きれいに見える季節です。

今冬のふたご座流星群は、極大日の13日から14日明け方にかけて上弦過ぎの月がありますので、月が沈んだ14日の午前3時頃から天文薄明の始まる6時頃までがよく見えます。予報では極大日が14日の16時頃ですので、日本での最適な観察日時は13日の夜半から14日の夜明け前となります。月が沈んだ後は、夜空の暗いところでは1時間あたり50～70個位は見えると思われます。夜半から一晩中観察される方はレジャーシートや椅子を用意したり、非常に寒いので寝袋等の防寒対策を十分に取って風邪をひかないようにしましょう。

また、14日の20時頃から夜半にかけて明るい火球クラスの流星も見えるそうですので、この時間帯も天文台も開館し、観察会を開きます。天文台に入館されない方は無料です。

期 日①	:	令和3年12月13日(月)～14日(火)
時 間①	:	午後11時00分～午前5時00分
期 日②	:	令和3年12月14日(火)
時 間②	:	午後8時00分～午前0時00分
場 所	:	うぶやま天文台 (熊本県阿蘇郡産山村大字大利585 ファームビレッジ産山内)
観察対象	:	ふたご座流星群(詳細は次ページに記載)
持 参 物	:	・星座早見盤(学校等で制作したもの。一般参加者で持ってない人には当日配布します) ・防寒着
料 金	:	村内の方・・・無 料 村外の方・・・高校生以上：300円 小中学生：200円 未就学児：無 料

※ただし、流星群観察のみの方は天文台入館がないため無料

※密を避ける観点から、予約状況によってはお断りさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

天候不良などで実施できない場合は、中止します。その場合は、再度お知らせ端末にて連絡します。

上記につきまして産山村外の方は、産山村教育委員会(0967-25-2214)までご連絡下さい。

【ご来館予定の皆様へ】

新型コロナウイルス感染症感染防止のため、ご来館前及びご来館の際は、下記の事項をお守りいただきますようお願いいたします。

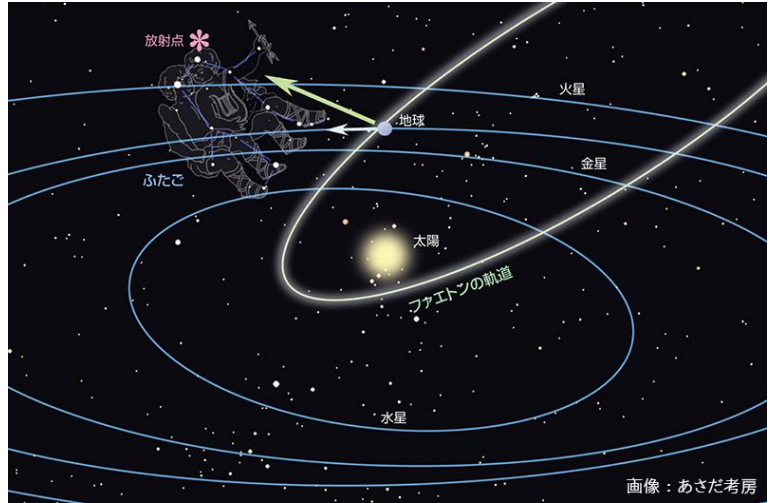
- 新型コロナウイルス感染者との濃厚接触が判明している場合や、その恐れがある場合は、来館できません。
- 咳や発熱などの症状がある場合は、来館できません。
- マスクや手洗いなど、各自で十分な防護策をお取りください。

ふたご座流星群とは

ふたご座流星群は毎年12月13日～15日頃を中心に活動する流星群で、しぶんぎ座流星群、ペルセウス座流星群と並んで、年間三大流星群の一つです。

母天体は普通、彗星なのですが、この流星群の母天体は小惑星ファエトンといわれています。ファエトンは元々は彗星で、彗星の時に何回も回帰し、たくさんのチリを放出しやせ細って、中心部の岩石だけになって、太陽の重力で捕捉され、小惑星となりました。ファエトンが彗星の時代に、太陽に近づいて地球の公転軌道上をかすめて通過し、軌道上に彗星のかけらや氷の固まり、岩石のかけら、チリやホコリなどを多量にばらまきました。

地球の公転周期は決まっているので、毎年同じ時期に地球が通過すると、地球の重力に引かれたかけらなどが地球の大気に飛び込んできて、空気の摩擦で燃えて流星となります。流星のほとんどが小さいため、大気中で燃え尽きて地表面に到達するものはほとんどありません。また、ふたご座β星カストル付近から飛び出して来るように見えるため、ふたご座流星群と呼ばれています。14日をはさんで数日はこの流星群はみられます。一番多い極大が14日の16時頃ですが、前後数日は観察できるでしょう。



画像：あさだ考房

